

日本復興のトリガー

——— 日本は災害をテコに飛躍する ———

木のまち構想

株式会社 トム
柳 田 信 之

2025/11/25

はじめに

我が国はもとより地政学的に災害多発国であります。毎年の様に起こる水害、土砂災害

地震、津波、火災、...それでも日本人は辛抱強く立ち直って来ました。

しかし近年の災害は大規模化し直ぐには再興出来ていないのが現実です。

その一番の問題は住宅、仕事、生活インフラ、の計画がバラバラである事です。

どれひとつ欠けても町として機能しなません。

それを解決する方法は住宅、公共施設、商業施設、橋、掲示板、等々が一つのテーマで

統一されていたらどうでしょう。そこには物語が生まれます、世界観が何かを感じさせます。其れを「木」で表現するのです。

「木」は環境だけではなく人にも優しいです、町全体をオキシトシン効果（母性愛）で包みます。

そうです「木」のまちは人が住みながら観光資源になるのです。住、職、客が同時実現できるのです。復興の迅速かができるのです。

木は我が国に豊富に有ります、同時に大量に需要が起これば林業の再生のきっかけになるでしょう。その需要は継続します。亦木のまちは日本人の精神にも繋がり「失われつつある「森の文化」を呼び戻すことにも波及していくでしょう。

関係各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

株式会社 トム

代表 柳田信之

木のまち構想

目的

I.被災地復興の迅速化

- 生活の場づくり ← (一元化) → まち自体の観光資源化
(職 住) (集客：経済基盤)

II.林業の活性化 ⇒ 山林の再生

- 木材需要の拡大と継続 — 生産と需要の振興

III.実現可能な技術背影 及び 課題

- 1.木材耐久性向上塗料(鉄・コンクリート匹敵)
 - 2.難燃塗料
 - 3.高層化技術
- シリカ・・・市場普及
・その他

○ 課題 — 地域行政に統括機能が求められる

まちづくりに必要概要

- 林業
- 製材
- 住宅
- バイオマス
- etc

経済

集客 仕掛

(対応・宿泊・飲食サービス)

- 市民・市外参加
- ディストネーション スポット

(来街客)

- タウンアイデンティティー
- デザインコード

木のまち

- 主要建築物 — 木材でつくる
- 町の表情を揃える

(就業住民)

生活基盤

エッセンシャル
インフラ

- 〔・上下水道〕
- 〔・電気 ガス〕

文化インフラ

公園・祈・遊び
憩い

生活インフラ

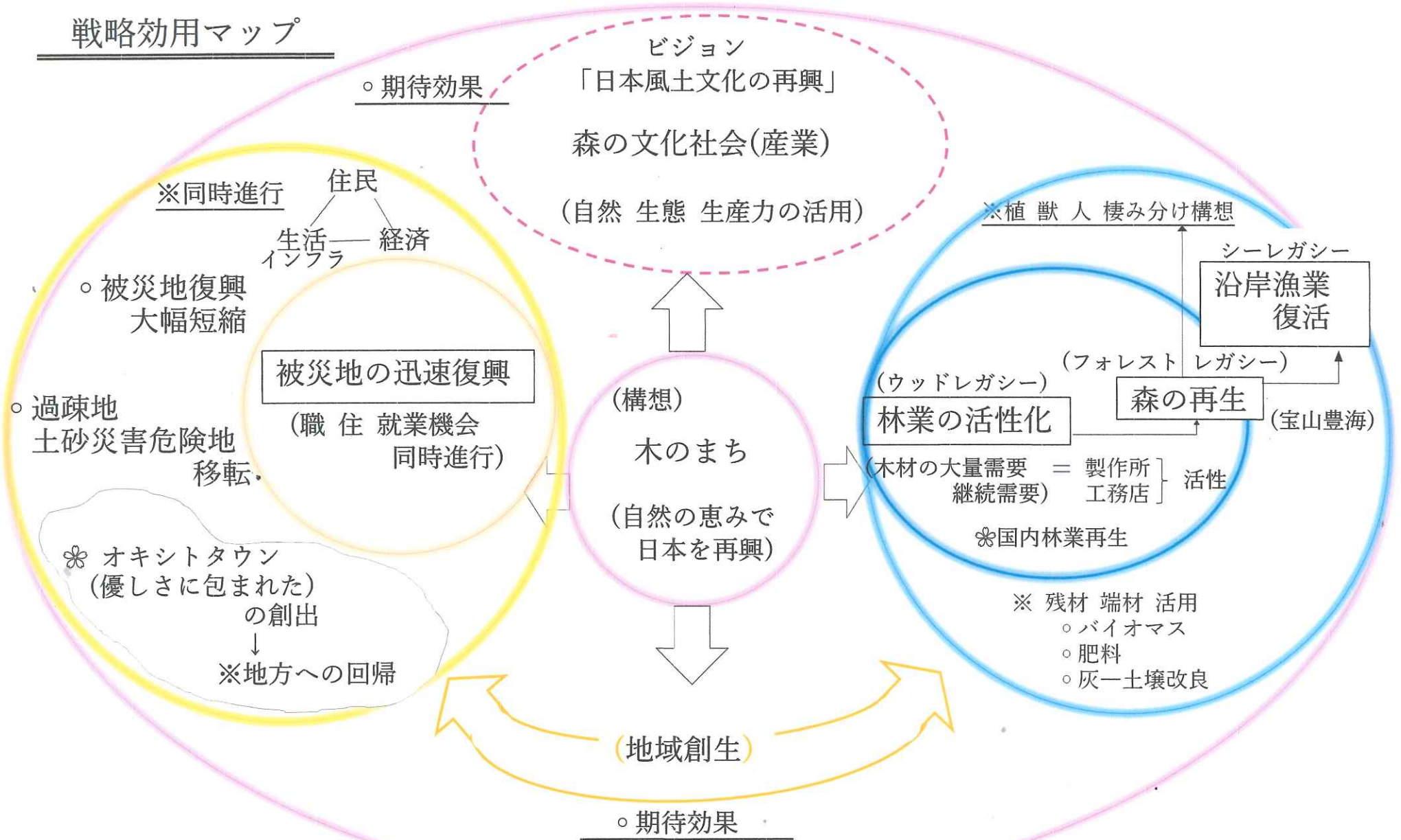
- ・ 交通
- ・ 病院
- ・ 商業
- ・ 保険
- ・ 教育
- ・ 行政サービス

- 交番・学校・駅舎・役所・公民館
- 郵便局・旅館・企業・営業所
- 民家・橋・掲示板・公園施設

(サービスコンテンツ)

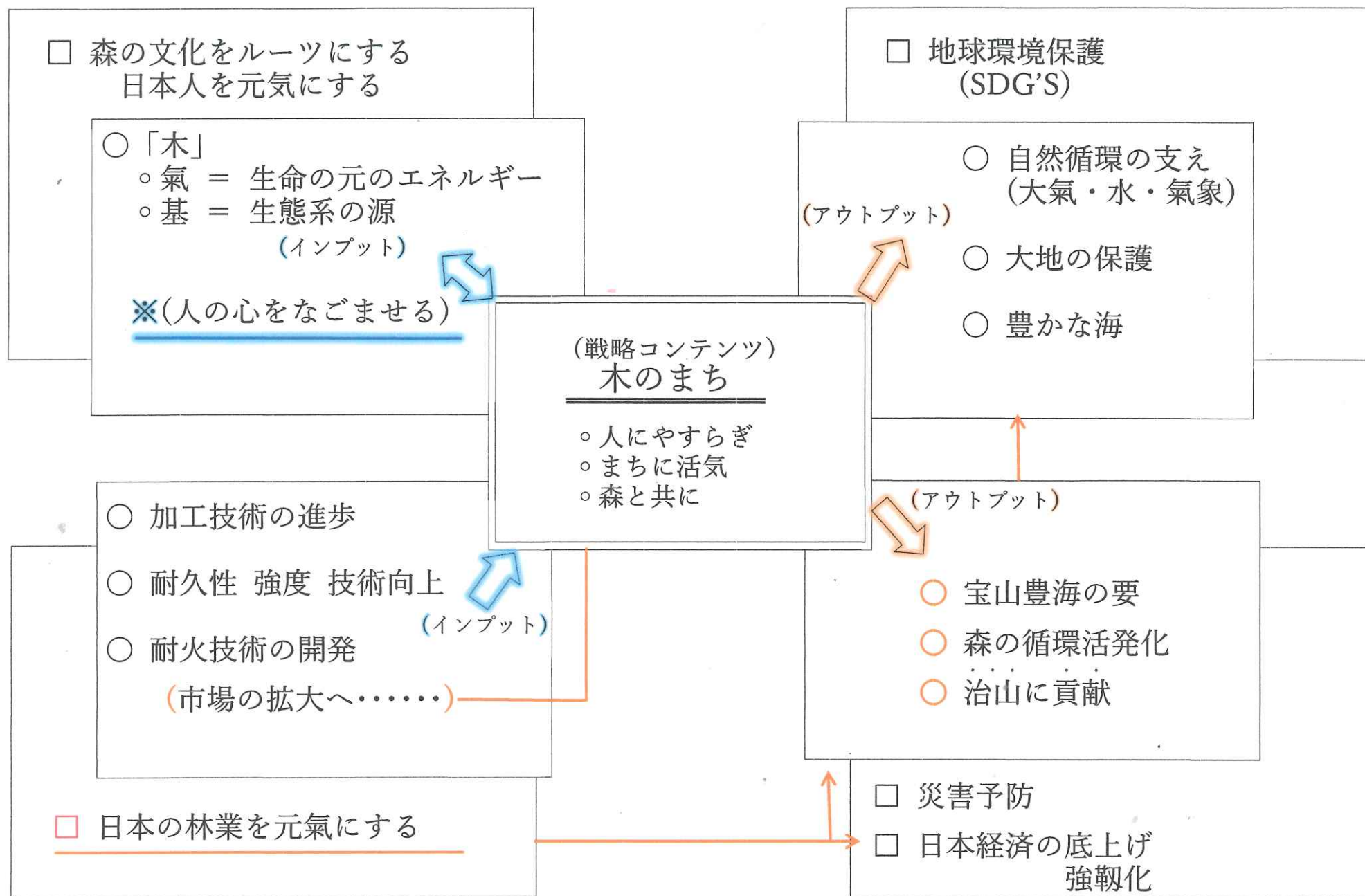
- ex
- 温泉(檜・薬草)
 - 地元会席
 - 地場食 屋台村
 - 木工アート
 - 祭
 - イベント
 - etc

戦略効用マップ



・イタリア
・日本 ・白壁のまち

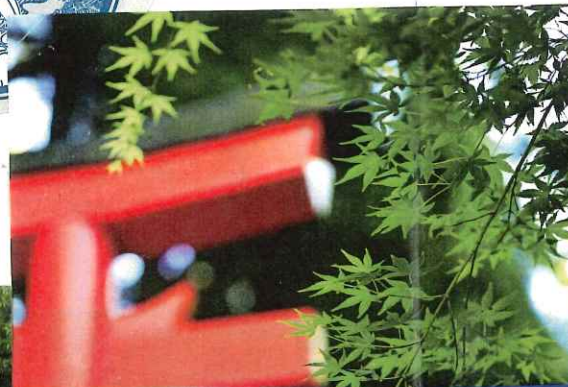
木のまちの効果効用チャート





まちの機能は多様

まちの表情を揃える
まちづくりデザイン管理





③広々とした土間、天候に左右されず、ロードバイクのメンテナンスやDIYが楽しめる。



市民の木の生活空間



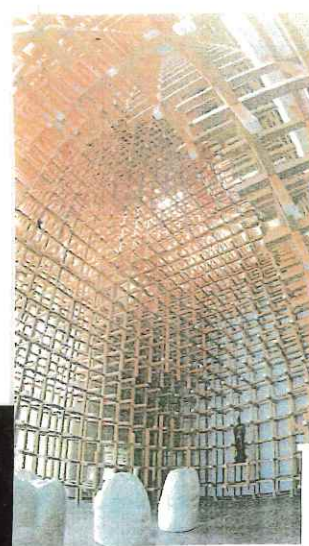
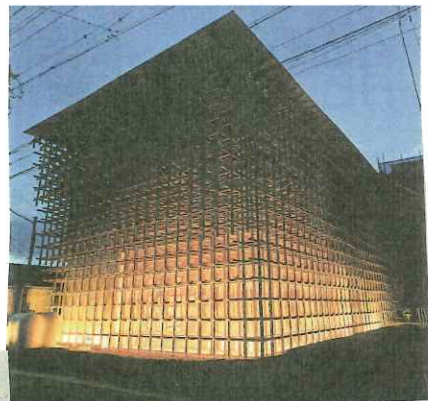
④杉の無垢フローリングや構造合板の天井を採用し、木の香り漂うLDKに。窓外の緑もくつろぎ感を高めてくれる。



⑤キッチン上のロフトには階段ハシゴで出入りする。生活感のある冷蔵庫は造作ボックスで囲んですっきりと見せた。⑥構造現しの天井が開放感を演出、屋根の傾斜が視線を外へと誘導する。



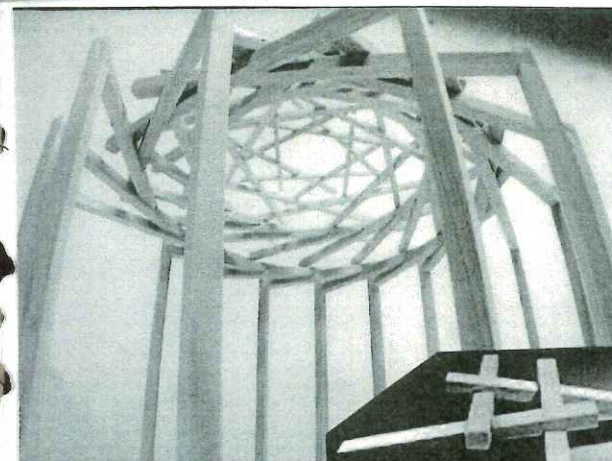
(石川県加賀市) ヒノキ造り、昨年架け替え



ディストネーションプラン

日本の木工建築
の
粋を集める

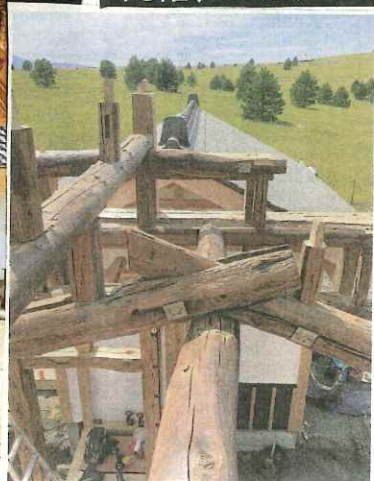
世界から見学に



16寸、16寸、8寸、8寸

Thatched Roof Universe

Photographs by Rei SHIZUNO
Text by Takuro WATANABE





全国大学 大会
(建築・造形)
…全国から人を集める…

建築
創作イベント

集客の仕掛



市民タワー



古民家リフォーム

まちの情感インフラ

